会長・CEOからのメッセージ

2050年までに世界の人口は93億人に達すると予想され、これを支えるため、私たちは食糧の生産量を倍増させなくてはなりません。その鍵を握るのが、地球上で最も希少な天然資源である水です。現在のように水を過剰使用していけば、石油より先に水が枯渇するでしょう。ネスレが「燃料のための糧はない」と主張するのはこのためです。

現在のペースで淡水を過剰使用していると、経済成長に深刻な遅れが生じるでしょう。さらに悪いことに、今後 15 年から 20 年で大規模な食糧危機を引き起こすと考えられます。問題をさらに悪化させるものとして、2050 年までに世界の人口がさらに 23 億人増加し、現在の食糧やエネルギーに対する需要がさらに高まることが挙げられますが、そのどちらもが淡水と非常に関わりをもっています。

世界をリードする栄養・健康・ウエルネス企業として、お客さまのニーズに対応するために、ネスレは、あらゆる段階で信頼できるルートを確保して清浄な水を入手しています。ネスレは水に対して真剣に考え対応に務めています。今年は 2006 年の水資源に関する報告書で言及した 5 つの「W.A.T.E.R. 方針」を見直し、私たちの事業展開、サプライチェーンおよびコミュニティとの協力を通して引き続き水への取り組みを推進することを確認しました。現在、進捗状況をモニターする一連のパフォーマンス指標の開発を行っています。

水の問題は地域の課題です。しかし、経済が相互に連動している現状では、地域の水不足の影響がたちまち世界的な問題になります。ネスレの事業展開によって影響を与えることはできますが、本当の意味で持続可能な解決策は、複数のステークホルダーが協力して対処して初めて実現するのです。従って、私たちの直接的な対応の一方で、水資源に関する国際的な対話を積極的に推進していく所存です。

近年、水資源は世界で最も注目される問題となってきました。2008 年、世界経済フォーラムは「2030 年水資源グループ」を立ち上げ、この問題に対処するための主要な人材を集め、水資源が枯渇の危機にあることを強調しました。

ネスレ会長のリーダーシップで、グループは「水の将来を描く」と題した画期的な報告書を発表し、その主な調査結果がその他のステークホルダーとの協力の下、各国政府のリーダーシップによって具体的な対応に盛り込まれています。これは淡水の取水量を自然再生とバランスのとれたものに戻すための重要な第一歩です。

ネスレは「国連グローバル・コンパクト CEO ウォーターマンデート」を提唱した一企業でもあり、その報告要件は、本報告書に反映されています。私たちは水資源に関わる公共政策のディベートに積極的に参加し、バイオ燃料に関する誤った政策が及ぼす影響について理解を深めるべく努力しています。リオの 20 カ国・地域首脳会合で「燃料のための糧はない」ことへの明確な方針が打ち出されることを期待しています。食糧は人間のためのものです。燃料として使って差し支えないのは廃棄物です。

私たちは、適切で安全な淡水を使用することは人間の権利だと確信しています。水分補給と基本的な衛生環境のための用途以外にも、持続可能な水資源に対する政策では、コストとその真価（および希少性）を反映し、水に妥当な価格を設定するべきです。

私たちは企業が長期的に成功を収めるには、株主に対する価値を創造すると同時に、事業を行う地域と社会全体に対しても価値を創造しなければならないと考えています。私たちはこれを「共通価値の創造」と呼んでいます。ネスレはそのバリューチェーン全体を解析し、「共通価値の創造」に最適な 3 つの分野として、「水資源」以外に「栄養」と「農業・地域開発」を特定しました。「水資源」が本報告書の主たるテーマであることに変わりはありませんが、残り 2 つの優先分野、ならびに「共通価値の創造」の必須基盤である環境サステナビリティとコンプライアンスにおける進捗状況と課題についても報告しています。本報告書の一部として、国連グローバル・コンパクトとそのブループリントを私たちが強く支持していることを改めて表明します。ネスレは国連グローバル・コンパクト LEAD の提唱メンバーです。

「栄養」に関して言えば、ネスレは国連がイニシアチブをとる「Every Woman Every Child」への取り組みを推進すると同時に、「ヘルシーキッズ　グローバルプログラム」を拡大し、子どもに栄養と運動の大切さを教えるなど、今日の健康問題に引き続き対応しています。また、ネスレでは女性が収入を得ら

ケニア、カビエットの東アフリカ酪農開発プロジェクトの工場にミルクを供給している農家の水施設を訪問するネスレ会長　ピーター・ブラベック・レッツマット（左）

インド、カルナータカの新工場に近い学校を訪問するネスレCEOポール・ブルケ。ネスレはその地域の現地政府と協力して村の学校に清潔な飲料水と下水処理施設を提供しています。

れる仕事の提供や、女性と子どもに焦点を置いた教育環境の継続的な提供も行っています。こうした取り組みは、国連ミレニアム開発目標に対する私たちの支持を反映したものとなっています。

私たちの「農業・地域開発」目標には本来責任ある調達が欠かせないものであり、2011 年には 1,910 件の監査を行い、その現場に対してサプライヤーの責任が遂行されていることを確認しました。私たちのトレーサビリティプログラムも重要な節目を迎えています。2010 年のパーム油および紙とパルプに始まり、2012 年までにはさらに 10 の分野と主要原料にこのプログラムを拡大する予定です。特に深刻な課題が児童労働です。ここ数年私たちはネスレのサプライチェーンにおいて児童労働の余地のないことをさらに確実なものにするために取り組んできました。従ってネスレ独自のカカオサプライチェーンの透明性を高めることができるように、そしてこの件に関係する他のステークホルダーと共に是正措置を定め実行することができるように、NGO 公正労働協会と協働する初めての食品企業となったのです。

本報告書要約版、ならびに www.nestle.com/csv でご覧いただける「共通価値の創造」に関する詳細な報告書に、私たちの進捗状況と 2011 年の課題を記載しています。 それらが皆さまにとって興味深く有益であることを願っています。また、www.nestle.com の「お問い合わせ」ボタンより皆さまからの情報・ご意見が寄せられることを心待ちにしています。

会長
ピーター・ブラベック・レッツマット

CEO
ポール・ブルケ